



## 平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年2月9日

上場会社名 株式会社アイビー化粧品 上場取引所 東  
 コード番号 4918 URL http://www.ivy.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白銀 浩二  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経理部 部長 兼 経営管理部 部長 (氏名) 中山 聖仁 TEL 03-6880-1201  
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	4,507	25.1	661	68.1	666	70.1	347	69.9
28年3月期第3四半期	3,602	20.2	393	313.9	391	289.5	204	368.0

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 365百万円 (78.6%) 28年3月期第3四半期 204百万円 (354.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	175.37	—
28年3月期第3四半期	103.21	—

※ 平成28年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、1株当たり四半期純利益は、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	6,433	2,764	43.0
28年3月期	5,651	2,897	51.3

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 2,764百万円 28年3月期 2,897百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
29年3月期	—	10.00	—		
29年3月期（予想）				300.00	—

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

※ 平成28年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。平成29年3月期（予想）の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は、「—」として記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成29年3月期（予想）の1株当たり期末配当金は30円となり、1株当たり年間配当金は40円となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

## 3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,400 ～8,200	43.3 ～58.8	1,800 ～2,200	185.5 ～248.9	1,800 ～2,200	187.5 ～251.4	1,100 ～1,400	214.3 ～300.0	554.84 ～706.16

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 1. 平成29年3月期の連結業績予想については、レンジ形式により開示しております。  
 2. 平成29年3月期の連結業績予想（通期）における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。株式併合を考慮しない場合の平成29年3月期の連結業績予想（通期）における1株当たり当期純利益は55円48銭～70円62銭となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 2「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	2,552,000株	28年3月期	2,552,000株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	569,442株	28年3月期	569,045株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	1,982,780株	28年3月期3Q	1,983,100株

※ 平成28年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

平成29年2月9日付で金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の「独立監査法人のレビュー報告書」を受領しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 当社は平成28年6月29日開催の第41期定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成28年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。併せて同日付で単元株式数の変更（1,000株から100株への変更）を実施しております。なお、株式併合を考慮しない場合と株式併合を考慮する場合の平成29年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりです。

(1) 平成29年3月期の配当（1株当たり配当金）

	株式併合を考慮しない場合	株式併合を考慮する場合
第2四半期末	10円（注）	100円
期末（予想）	30円	300円
年間・合計（予想）	40円	400円

（注）第2四半期末の配当は、株式併合実施前の株式数に対して支払われます。

(2) 平成29年3月期の連結業績予想（1株当たり当期純利益）

	株式併合を考慮しない場合	株式併合を考慮する場合
通期	55円48銭～70円62銭	554円84銭～706円16銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各種政策の実効性により、雇用環境は改善してきており、一部に改善の遅れや、海外景気・金融市場の変動による下振れが懸念されるものの、景気は緩やかな回復傾向にあります。

このような状況のもとで、当社グループは企業理念「愛と美と豊かさの実践と追求」に基づき、コア事業である訪問販売領域の販売組織満足を獲得するとともに、全てのステークホルダーの満足度向上を目指し、「驚きと楽しさと感動に溢れる美しい生き方」をともに創造し、幸せと豊かさを提供する「ワンダ・フル・カンパニー」として成長すべく、企業活動に邁進してまいりました。

創立40周年を迎えた平成28年は企業テーマに「With」を掲げ、全ての戦略と支援の方向について、販売会社増設と組織づくりに焦点を当て、目の前の人の可能性を信じて本気でかかわり、お互いに刺激し合うことで共に自己成長し、「なりたい自分になる」、「自身のもつ販売功績レコードを更新する」ことを全社、全販売組織をあげて推進してまいりました。

当四半期は、一人ひとりの方の“夢の実現”に向けて、早期から徹底して継続してきた当社のフラッグシップ製品「レッドパワー セラム」の販促プロモーションや販売組織づくりを継続展開し、スキンケアと合わせた実売促進を図ってまいりました。また、12月には「アイビー メイクアップコレクション プライム アップ パワー」を新発売し、顧客満足向上にも努めてまいりました。同時に、第4四半期に発売予定の新製品に関する戦略浸透を販売会社に対して早期に展開し、販売組織づくり、及び販売功績レコード更新へのゴールを目指し、取り組み喚起を行いました。営業所増設、ビューティマネージャー増員、アイビーメイツ増客は、それぞれ前年同期比で増加し好調に推移しました。また、販売員育成教育においても継続促進を行うことで、販売員向けの初級教育への動員は前年同期比で約3倍、上級者向け教育は4倍強となり、当社の強みである「製品力」の発信と「教育力」の推進を継続して取り組んだ結果、売上面におきましては、前年同四半期比で増収となりました。

利益面におきましては、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、それぞれ前年同四半期比で増益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高4,507,135千円（前年同四半期比25.1%増）、営業利益661,832千円（同68.1%増）、経常利益666,398千円（同70.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益347,721千円（同69.9%増）となりました。

なお、当社グループの事業は単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

### (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今期は創業40周年Yearでもあり、販売組織の活動が非常に活発になっており、今後の当社の業績見通しは、明るいと考えております。当第3四半期連結累計期間におきましては、浸透美活液「レッドパワー セラム」の追加生産、実売の推進、リピートの獲得に努めました。上期において生産が追いつかなかった「レッドパワー セラム」も、リカバリーし生産および出荷が順調に出せるようになりました。引き続き販売員の育成につとめ、「レッドパワー セラム」の拡販、「コスモスシリーズ」の拡販、美白製品およびレギュラー製品の底上げに努めて参ります。また、第4四半期には、大型スキンケア製品の発売も予定しております。そのため、平成28年11月9日に公表しました通期業績予想を達成出来る見込みであります。

さらに、来期は上代売上400億円（決算上の下代売上で約150億円）を目指し、創業45周年には訪販化粧品業界でNo.1になるべく、今期からその準備も行っていく所存です。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ534千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,188,725	1,279,588
受取手形及び売掛金	1,488,871	1,813,536
商品及び製品	453,895	588,106
仕掛品	7,507	21,072
原材料及び貯蔵品	216,583	251,136
その他	174,568	305,259
貸倒引当金	△13,139	△39,117
流動資産合計	3,517,012	4,219,581
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	348,236	340,595
機械装置及び運搬具(純額)	50,330	47,160
土地	521,190	521,190
リース資産(純額)	5,942	4,571
その他(純額)	22,200	60,693
有形固定資産合計	947,899	974,211
無形固定資産	22,388	50,102
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	328,538	344,455
投資不動産(純額)	259,607	255,965
差入保証金	325,296	324,228
その他	307,253	370,196
貸倒引当金	△66,583	△122,850
投資その他の資産合計	1,154,112	1,171,995
固定資産合計	2,124,400	2,196,310
繰延資産		
社債発行費	10,172	17,584
繰延資産合計	10,172	17,584
資産合計	5,651,585	6,433,475

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	418,695	527,809
短期借入金	390,000	110,000
1年内償還予定の社債	124,000	224,000
未払法人税等	239,043	308,627
賞与引当金	100,533	54,261
ポイント引当金	235	-
返品廃棄損失引当金	20,000	26,000
その他	449,530	787,672
流動負債合計	1,742,038	2,038,369
固定負債		
社債	888,000	1,496,000
その他	124,064	134,729
固定負債合計	1,012,064	1,630,729
負債合計	2,754,102	3,669,098
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	804,200	804,200
資本剰余金	343,800	343,800
利益剰余金	3,567,055	3,419,065
自己株式	△1,701,863	△1,704,396
株主資本合計	3,013,192	2,862,668
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,161	19,580
土地再評価差額金	△117,871	△117,871
その他の包括利益累計額合計	△115,709	△98,291
純資産合計	2,897,483	2,764,377
負債純資産合計	5,651,585	6,433,475

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	3,602,755	4,507,135
売上原価	692,226	823,867
売上総利益	2,910,529	3,683,268
販売費及び一般管理費	2,516,906	3,021,436
営業利益	393,623	661,832
営業外収益		
受取利息	2,677	6,245
受取配当金	436	556
受取賃貸料	31,895	29,471
業務受託手数料	8,167	12,904
雑収入	7,306	14,835
営業外収益合計	50,484	64,013
営業外費用		
支払利息	8,629	8,085
賃貸収入原価	33,985	32,017
雑損失	9,714	19,344
営業外費用合計	52,330	59,447
経常利益	391,777	666,398
特別損失		
減損損失	1,263	-
特別損失合計	1,263	-
税金等調整前四半期純利益	390,513	666,398
法人税、住民税及び事業税	153,881	424,461
法人税等調整額	31,964	△105,785
法人税等合計	185,845	318,676
四半期純利益	204,667	347,721
親会社株主に帰属する四半期純利益	204,667	347,721

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	204,667	347,721
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△255	17,418
その他の包括利益合計	△255	17,418
四半期包括利益	204,411	365,139
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	204,411	365,139

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

当社グループは化粧品の専門メーカーとして、同一セグメントに属する化粧品の製造、販売を行っているため、記載を省略しております。